

2、月経困難症

月経困難症の患者さんの実例です。

〔症例〕24歳、女。

母親に付き添われて、顔色の悪いやせた女性が、受診しました。常に胃腸の調子が悪く、月経が重くて月経の時に下腹部痛、腰痛がひどく仕事が全くできないと言います。腹部は、腹直筋が張っていて下腹部に圧痛があります。腹直筋の緊張は、胃腸虚弱の人に多くみられ、漢方で言う虚証と考えられます。虚証の月経困難症に用いる当帰建中湯を服用していただきました。次の月経は少し楽だったそうです。3月後の月経では、下腹部痛や腰痛がかなり改善しました。6月後には僅かの腹痛のみとなりました。ほぼ完治となりました。

月経困難症とは月経の時および月経前にさまざまな障害が出現し、日常生活に支障をきたすことを言います。月経前後の下腹部痛、腰痛、下腹部膨満感や重圧感などが主要な症状で、起き上がることができず、鎮痛剤、鎮静剤を必要とする場合は病的とされています。月経困難症の第一選択薬は、当帰建中湯です。

表 月経困難症の漢方治療

体力がある場合（実証）

- ・桂枝茯苓丸・腹力充実してお血のある時に用いる。

体力ふつう場合（中間証）

- ・当帰芍薬散・眩暈やお血のある時に用いる。

体力がない場合（虚証）

- ・当帰建中湯・胃腸が弱くて、お血のある時に用いる。